



OTARIA REPAIR SET

オタリア リペアセット

この度は「オタリア リペアセット」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
この商品はインフレーターブルカヤックの補修用のリペアクロスセットです。
ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき、確認の上ご使用ください。
なお、ご不明な点などがございましたら、
販売店もしくは弊社カスタマー・サービスまでお問い合わせください。
この説明書は大切に保管してください。

#2351924 オタリア リペアセット

【セット内容】

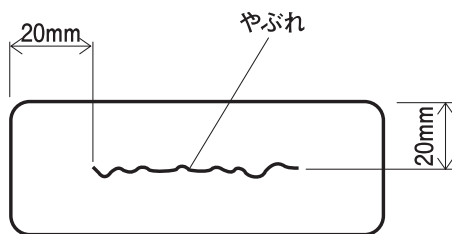
- リペアクロスA4サイズ(本体用1枚・ボトム用1枚)
- サンドペーパー #100
- 接着剤入り

■ご使用方法

○接着剤は別売の「#2351919 アルフェックリペアボンド」を使用してください。それ以外のボンドでは必要な強度が得られません。

1. 大きな破れの場合

- ①リペアをしようとする面の土、ゴミ、油等の汚れをウエスやベンジンで落とすおきます。シンナーは船体布を痛めるので使用しないでください。
- ②船体布側の接着面をサンドペーパー#100で研磨して荒らします。その後もう一度ベンジンを含ませたウエスで油分を取り除きます。
- ③船体布の穴、亀裂の大きさにあわせて付属のリペアクロスをカットします。大きさは穴、キズに対して+20mm程度を目安にします(下図参照)。角はまるめた方がより剥がれにくくなります。



- ④リペアクロスの接着面をサンドペーパー#100で研磨して荒らしてベンジンで油分を取り除きます。
- ⑤リペアクロスの大きさより5mm程度大きく船体側をマスキングテープで囲います。
- ⑥ボンドを船体布とリペアクロスに均一に塗布します。手にべとつかない程度乾燥させてからさらにもう一度、均一に塗布します。
- ⑦もう一度、手にべとつかない程度乾燥させてから強く貼りあわせませす。ゴムハンマー等でたたくとより効果的です。
- ⑧接着後、約30分程度で実用接着強度が得られますが、12時間は放置乾燥させてください。圧着し終えてからマスキングテープをはがします。
※接着剤の取扱いは接着剤に付属の説明書をお読みください。

2. ピンホール(針穴)の場合

目視できるような破れがないにも関わらず緩やかに空気が抜ける場合はごく小さなピンホール(針穴)が開いている可能性があります。(針穴が開いていなくても温度変化により艇本体の空気が収縮する場合があります。)

- ① 空気を入れ、空気の漏れる音が出ていないかチェックしてください。
- ② 穴を発見出来たら「1.大きな破れの場合」と同じ要領で修理します。
- ③ それでも穴が目視できない場合は、石鹼水をスプレーするか、石鹼水を含んだスポンジで艇本体を拭き気泡が出ている場所を特定します。
- ④ 穴を発見出来たら、石鹼水を完全に除去し、「1.大きな破れの場合」と同じ要領で修理します。

■注意事項

○バウやスターンなどの先端付近などリペアクロスがなじみにくい部分は、接着後ガムテープでリペアクロスを3時間程度押さえておきます。

○屋外で作業をする場合、船体布の温度の上がない日陰での作業をおすすめします。ボンドの温度が上がりすぎるとすぐに乾いてしまい作業しにくくなります。

モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。
無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。